

広報

# おおの



# 8月号

平成24年(2012年) NO.804





# 湧水と共に育んだ 文化を後世へ

## 目次

- P2 湧水と共に育んだ文化を後世へ
- P6 第五次大野市総合計画実施状況
- P8 新農業委員決定
- P9 市総合防災訓練
- P10 齊藤一郎・京都市交響楽団共演 / 市美術展
- P11 おおの城まつり
- P12 成人式実行委員募集 / 市職員採用案内
- P14 市の財政状況公開など

## 元気に育ってね

6月29日、本願清水イトヨの里で、開成保育園の園児が、七夕飾りのプレゼントとイトヨの稚魚を放流しました。園児らは、春に生まれた稚魚約200匹を、元気に育ってねと放流しました。

水を大切にすること、水資源開発の重要性について国民の関心を高めるため、政府は昭和52年、8月1日を「水の日」としました。1日からの1週間を「水の週間」として、水についての催しが全国で開かれます。この週間に合わせて湧水と共に育まれてきた文化について考えてみましょう。

## 提案やご意見は「やまびこ」へ

市政へのご意見などは、「市民提案箱やまびこ」や「電子メールやまびこ」へお寄せください。

電子メールアドレス  
yamabiko@city.fukui-ono.lg.jp

## 市ホームページ

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

## 市ホームページ 携帯電話用サイト

<http://www.city.ono.fukui.jp/>



本市は、古くから湧水が豊富で、清らかな地下水の恩恵を受けて発展してきました。越前大野城が築城された約430年前には、各所で湧水を利用して生活水路、排水路などを整備しています。  
市民は湧水を「清水」と呼び、飲み水や生活用水、社交の場として、「飲む」「冷やす」「洗う」などの場所を決め、秩序を守り大切に利用してきました。

## 市内の湧水

昭和40年代、市内には50カ所を超える湧水がありましたが、現在では約半数に減少しています。

市内に残っている主な湧水を紹介します。

### ① 御清水(泉町1区)

昭和60年に、環境省「名水百選」に選定された名水です。市街地の中心部にあり、観光客が多く訪れます。

かつては、城主の御用水として使われたため「殿様清水」とも呼ばれ、周辺住民の社交の場にもなっ

ています。

### ② 本願清水(糸魚町)

金森長近公が大野城を築城し、城下町を建設した際に、本願清水の湧水を市街地まで導き、生活用水や防火用水として利用しました。

陸封型淡水魚のイトヨ生息地として、昭和9年に国の天然記念物に指定されています。平成20年に環境省「平成の名水百選」に選定され、隣接する本願清水イトヨの里では、イトヨの生態や湧水文化を学ぶことができます。





昭和30年ごろの御清水

**3 義景清水(泉町1区・3区)**

清水の近くに戦国大名朝倉義景の墓所があることから、この名が付いたといわれています。墓所の周辺は公園になっていて、水琴窟も整備されています。

**4 篠座神社の御霊泉(篠座町)**

神社境内の弁天池の白から湧き出しています。  
おやちいものなで  
 大国主命が「目の病気に効く霊水を与えた」という伝説があります。

**5 中野清水(下中野)**

地下水位の低下などで荒れていましたが、平成8年

ごろから地元有志を中心に清掃活動を行い湧水を復活させました。その後、中野清水を守る会を結成し、継続して管理しています。

**6 みくら清水(犬山)**

犬山に城があったころ、水源として利用されました。一日に朝昼晩の三度(二〜三)水をくみに下りてきたことから、「こう呼ばれるようになった」といわれています。

**7 お馬屋池(城町1区)**

江戸時代、大野藩の馬場うまばや厩うまばがあった所で、この名が付いています。明治45年

**8 木本薬師堂の霊泉(木本)**

継体天皇によって発見されたとの伝説があり、その後、薬師如来が祭られたと伝えられています。

**9 阿難祖地頭方の清水(阿難祖地頭方)**

清水の近くには、地域住民が整備した「めだかの分校」があります。

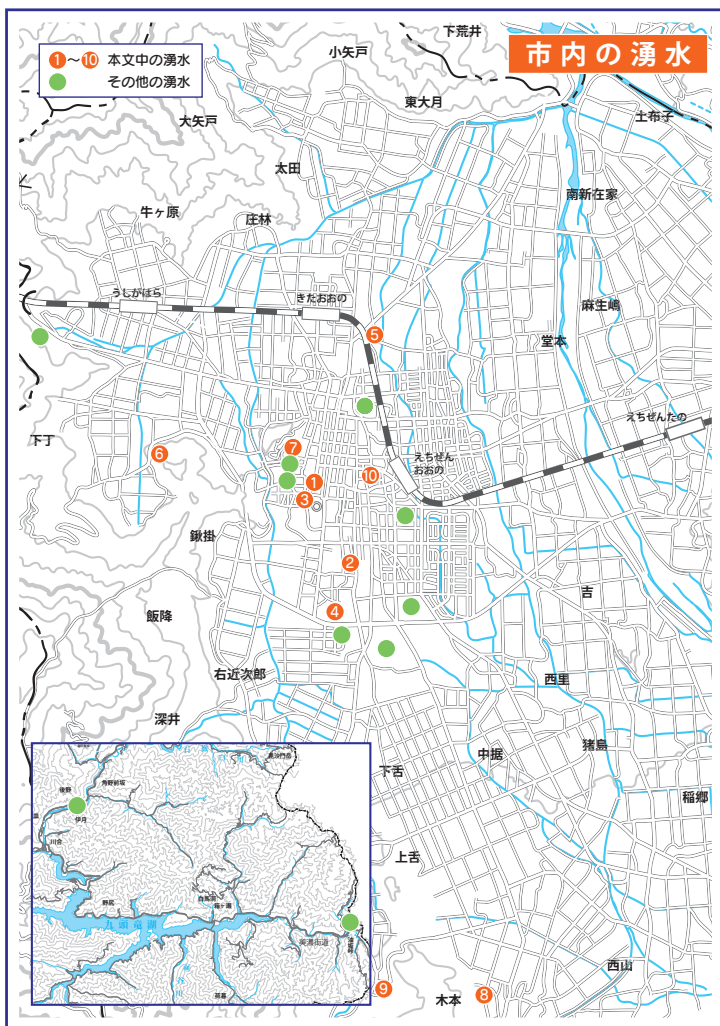
**10 山王神社の掘(日吉町2区) など**

**湧水の減少・枯渇**

昭和40年代まで豊富だった湧水は、環境の変化によって昭和50年代以降に水位の低下が進み、市街地では湧水の減少や枯渇などが見られるようになりました。

近年では、一年を通して自噴している湧水は「中野清水」など数えるほどになり、名水百選の御清水、平成の名水百選、本願清水も

ポンプで水をくみ上げて、湧水期をしのぐような状態です。



## 水位回復の目標

市では、地下水保全管理計画や越前おおの湧水文化再生計画で、湧水の再生目標を定めています。目標は、昭和50年代の地下水位まで回復することです。

具体的には、一年を通して御清水観測井の地下水位が1.2m未満、春日公園観測井が5.5m未満、菅蒲池観測井(浅井戸)が7.0m未満に設定しています。



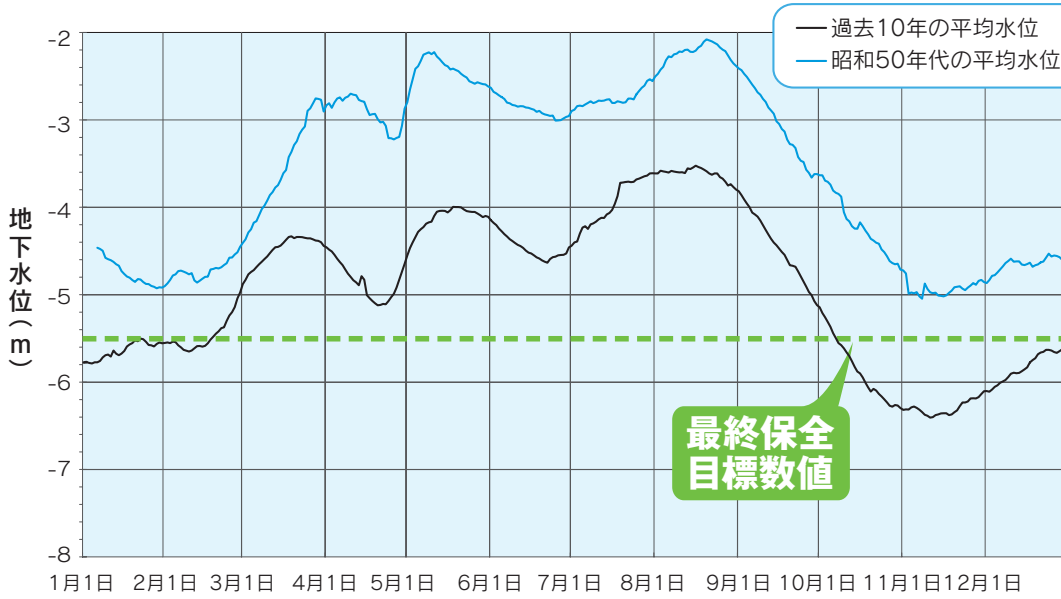
## 地下水の保全と湧水の再生対策

現在の地下水は、冬季の水田湛水(たんすい)など、さまざまな対策によって低下傾向が緩

やかにになりました。ここ数年は大雪が続いたことも影響し、地下水の長期的な低下傾向は止まり、回復傾向に向かってはいますが、まだ

目標としている昭和50年代の地下水位までには回復していません。今年度市では、次の対策を行い、地下水の保全と湧水の再生

春日公園観測井の過去10年(H14~H23)と昭和50年代の平均水位



を図ります。

### ○地下水保全対策事業 680万円

地下水位の動向を把握するため、27カ所の観測井で地下水位を観測し、中野清水では湧水量を観測します。地下水対策審議会を開催します

### ○地下水涵養(かんよう)対策事業 411万円

地下水の涵養地域である木本原地区で、30畝の水田湛水事業と同地区に設置した透水性排水路の維持管理を行います

### ○環境保全対策費 (地下水の水質検査) 495万円

市内を42ブロックに分けて年1回、水道法に定めら

れた飲料水の基準に準じた39項目の水質検査を実施します

### ○地下水汚染対策事業 139万円

平成元年に発生した有機塩素化合物による地下水汚染の浄化対策や追跡調査などをを行います

### ○地下水保全基金助成事業・地下水再利用施設等設置促進事業 90万円

市民や事業者が行う地下水保全の取り組みに対して助成します

### ○湧水再生研究調査事業 513万円

国や県、その他関係機関や団体と連携しながら、湧水再生に向けた各施策に取り組みます





## 次の世代へ 引き継ぐために

大野盆地の地下水は、上流域で涵養され、下流域の市街地に流れています。下流域に住んでいる人は、上流からの恩恵を受けていることを、上流域に住んでいる人は地下水を育んでいるということを確認することが必要です。市全体の共有財産である地下水を守り、次の世代に引き継ぐため、節水などの湧水再生に向けた具体的な行動を起こしましょう。

☎ 建設課湧水再生対策室  
06・11111内線3422

## 地下水保全活動への支援

### ○地下水保全基金助成事業 (保全基金を原資としています)

市民や市民で組織する団体、事業所が次の事業を実施する場合、経費の一部を助成します。

#### 対象事業

- ①地下水や表流水の調査研究
- ②地下水や表流水保全のための啓発活動
- ③地下水の合理的利用または節水のための設備整備、200ℓ以上の雨水貯留タンクや浄化槽転用による雨水貯留設備の設置費用

#### 補助金額

対象経費の2分の1  
(①と②は上限10万円、③は上限50万円)

### ○地下水再利用施設等設置促進事業

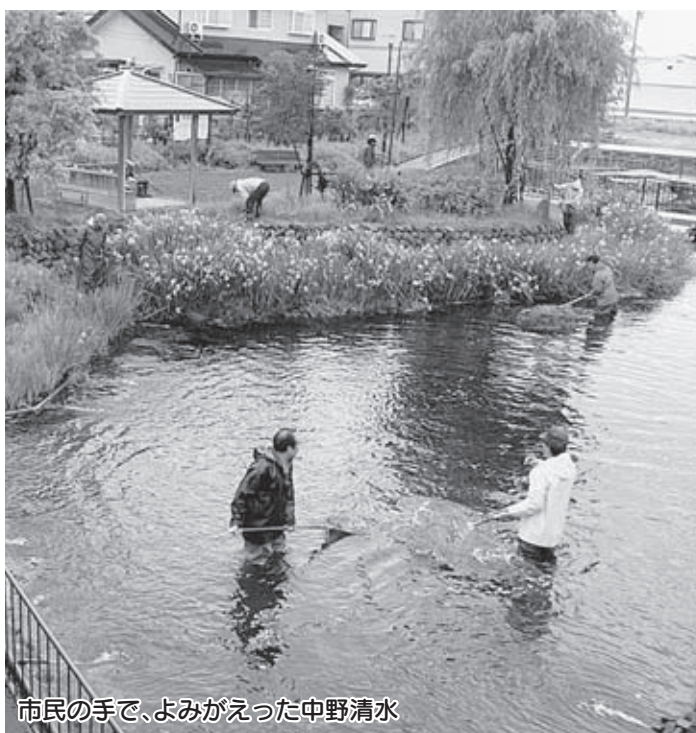
市内で地下水をくみ上げて使っている事業所が、次の施設や水量測定器を設置する場合、経費の一部を助成します。

#### 対象事業

- ①地下水の循環再利用施設
- ②節水型機器への改造
- ③地下水保全条例で設置が義務付けられている水量測定器

#### 補助金額

対象経費の3分の1  
(①と②は上限400万円、③は上限10万円)



市民の手で、よみがえった中野清水

## 地下水保全基金の状況

平成12年12月から地下水の保全に向け「大野市地下水保全基金」を設置しています。基金は、趣旨に賛同いただける皆さんからの寄付金によって積み立てられています。地下水を守り、水と緑に恵まれた私たちのふるさとを次の世代に引き継ぐため、皆さんの協力をお願いします。

平成23年度の寄付金額合計 **196万3684円**

#### 寄付者(順不同、敬称略)

- ・越前信用金庫 ・福井システムズ株式会社 ・ニチコン株式会社 ・野田佳江
- ・有限会社南部酒造場 ・いとよ音灯会実行委員会 ・大野市名水を活かした水先案内実行委員会(3件)
- ・大野市職員共済会(2件)

基金の残高(平成24年3月末) **3696万9728円**

#### 基金の活用事例

研究調査・啓発活動(8件)	<b>55万円</b>
施設整備への補助(8件)	<b>193万円</b>
地下水涵養事業(1件)	<b>300万円</b>
涵養源(森林)の保全(3件)	<b>157万円</b>



# 心ふれあうまちを目指して

平成23年度(計画1年目)の実施状況を報告します

## 総合計画とは

市の将来を展望し、まちづくりの目標と方向を明らかにした、市の最上位計画です。第五次大野市総合計画は、基本構想を平成22年12月に、前期基本計画「越前おおの元気プラン」を平成23年2月に策定しました。

## 基本構想

市の将来像やまちづくりの目標を設定して、期間は平成23年度から平成32年度までの10年間です。

## 前期基本計画

### 「越前おおの元気プラン」

基本構想に沿って必要な施策や事業を体系的に明示しています。期間は平成23年度から平成27年度までの5年間です。

## 平成23年度

### 取り組み状況

前期基本計画に沿って実施

計画の1年目が経過し、取り組み状況と指標の進行状況がまとまりました。

した主な事業は次のとおりです。金額は決算額を示しています。

### 基本目標①

優しく賢くたくましい  
大野人が育つまち

ふるさと文化創造事業

82万円

地域文化振興事業

47万円

越前おおの地域づくり交付金

1392万円

越前おおの元気創造事業

445万円

市民協働推進事業

71万円

### 基本目標②

共に思いやり支え合う  
安全で安心なまち

保健医療福祉サービス

拠点施設整備事業

11億5842万円

(事業期間平成22・23年度  
全体事業費16億5377万円)

子ども手当給付事業

5億7699万円

子ども医療費助成事業

8701万円

越前おおのハッピー

ブライダル応援事業

56万円

防災行政無線整備事業

2億4583万円

(事業期間平成23・24年度  
全体事業費6億9400万円)

山岳・水難救助高度化推進事業

210万円

### 基本目標③

誰もが快適で  
暮らしやすいまち

道整備交付金事業

2億2002万円

(北部幹線、下中野・中津川線、  
富島・上野・井ノ口線、南新在  
家・森目線、伏石・金山線ほか)

地域公共交通再生事業

5329万円

### 基本目標④

越前おおの魅力  
あふれる活力あるまち

地域農業担い手育成事業

25万円

商店街後継者育成支援事業

100万円

大和町市有地整備事業

2億2392万円

郊外散策観光推進事業

53万円

ふるさと雇用再生特別基金事業

5715万円

緊急雇用創出事業

2億5514万円

### 基本目標⑤

美しく豊かな自然環境を  
育み継承するまち

湧くわく水サミットin

186万円

越前おおの開催事業

華のジュータン形成事業

6000万円

基本構想実現に向けた  
行政運営

庁舎建設計画策定事業

1750万円

統合型GIS導入事業

3830万円



ふるさと文化創造事業  
中学生みこし・ダンスパフォーマンス

# 第五次大野市総合計画

## ひかりかがやき、たくましく、

### 将来の見通しの

### 推移状況

#### 人口

平成32年の本市の人口は、平成22年に比べて約4000人減少し、3万1650人になると予測されています。しかしながら、中部縦貫自動車道の一部供用開始や、国道158号、保健・医療・福祉サービス拠点施設などの社会基盤の整備などによる若者と元気な高齢者の人口増を見込み、目標人口を3万3000人と設定しています。

実際の人口の推移は、平成22年で3万5291人、平成23年で3万4646人となりました。予測される減少傾向を緩やかにする目標を立てていますが、さらに人口減少が進んでいる状況です。

#### ふれあい交流人口

もう一つの見通しとして、人口に1日当たりの市外からの来訪者数を加えたふれあい交流人口を取り入れていきます。観光客の大幅増を見込み、目標年間観光入り込み客数を200万人(1日当たり約5000人)まで増やします。目標人口3万3000人に1

日当たり約5000人を足して、目標ふれあい交流人口を3万8000人と設定しています。

ふれあい交流人口の推移は、平成22年で4万296人、平成23年で3万8846人となりました。観光入り込み客数の増加がふれあい交流人口の維持に貢献しているといえます。

### 成果指標の達成状況

総合計画では83の成果指標を設定しています。このうち、平成23年度に目標を達成した指標は11ありました。

これらは、環境指標など常時達成していることが好ましいもののほかに、目標が明確になり積極的に取り組んだものがあつたためと考えられます。

成果指標の目標が達成されるよう、引き続き総合計画の積極的な推進に努めます。

### 平成23年度達成した指標

- 郷土に関する学習の目標実施時間数を達成した学校
- 全小中学校
- 平成23年にスポーツ施設などを利用した延べ人数

26万374人

○ 平成23年に人権関係の啓発活動を実施した回数

14回

○ 障害者相談支援センターに相談のあつた件数

4181件

○ 越前おおのまるごと道の駅構想の策定

ビジョン(構想)策定

○ 越美北線の乗客数

34万8253人

○ 降雪期前の雪下ろし作業者登録者数

192人

○ 越前おおのブランドの情報発信に関わる人数

296人

○ 平成23年の中心市街地の観光入り込み客数

53.5万人

○ 11月の平均地下水水位  
御清水観測井

1.02㍎

春日公園観測井

5.12㍎

菖蒲池(浅井戸)観測井

6.48㍎

○ 水質基準を達成した河川などの数

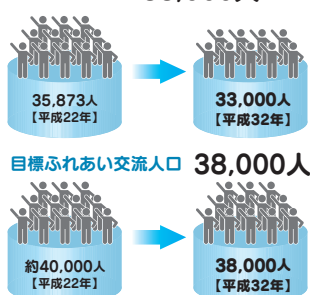
11河川など

詳細については、報告書全文を市ホームページに掲載していますのでご覧ください。グループ・団体などで、説明を受けたなどの場合は、わく湧くお届け講座をご利用ください。

☎ 66・1111内線432

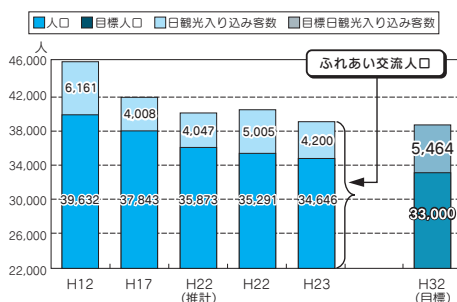
### 将来の見通し

目標人口 33,000人



### 人口とふれあい交流人口の推移

(資料:国勢調査、福井県人口推計、市観光振興課)





# 新農業委員が決定

6月30日で任期満了となった市農業委員会の新しい委員が決まりました。

農業委員は、6月17日に告示された選挙で無投票当選となった17人に、市議会推薦3人、農協推薦1人、土地改良区推薦1人を合わせた22人の委員で構成しています。任期は3年です。

7月9日に開かれた初総会で次のとおり役員が選出されました。(敬称略)



会長職務代理者  
谷脇 一治



会長  
帰山 勝一

## 農政委員会委員長

安川与治雄

## 同委員会副委員長

加藤 一夫

## 農地委員会委員長

齊藤 貞夫

## 同委員会副委員長

金子 武夫

## 新農業委員(敬称略)

### ○第一選挙区【大野・下庄・乾側】

金子 武夫(篠座町)

今村 進(矢)

佐々木正祐(西大月)

加藤 一夫(中保)

西田 儀生(牛ヶ原)

### ○第二選挙区【小山・上庄】

大谷 哲夫(上舌)

笹嶋 貞一(飯降)

齊藤 貞夫(西山)

谷脇 一治(佐開)

高田 新一(御給)

土本 哲男(西裾)

### ○第三選挙区【富田・阪谷・五箇・和泉】

帰山 勝一(下唯野)

坂本 一郎(土布子)

辻 俊雄(井ノ口)

村中 甚孝(落合)

米澤 清一(森本)

久保田真由美(貝皿)

## ○市議会推薦

猪嶋愛津子(篠座町)

安川与治雄(下舌)

佐藤 順子(土打)

## ○農協推薦

加藤 泰子(石谷)

## ○土地改良区推薦

城地 豊治(蕨生)

☎ 農業委員会事務局

(☎66・1111内線312)

## 農業委員会の役割

農業委員会は、農業委員会等に関する法律に基づいて、市町村ごとに設置されている行政機関です。委員会業務の柱は優良農地を守ること、農地の確保やその効率的利用の促進を中心に、地域農業の振興を図る業務を担っています。

## 芹川用水・まちなか交流通路が完成



市街地観光の出発点となる結ステーションと御清水を結ぶまちなか交流通路が完成しました。通路の東側には、江戸時代に武家屋敷と町人屋敷の間を流れていた「芹川用水」を再現。親水空間を設けて水や自然、歴史、城の見える景観が生かされています。

☎ 都市計画課都市整備係  
(☎66・1111内線354)



# 市総合防災訓練

## 集中豪雨を想定

市では、災害対策基本法と市地域防災計画に基づき、毎年会場を変えて、実践的な総合防災訓練を実施しています。大規模災害に備え、市民や自主防災組織と防災関係機関が協力して訓練を実施することで、迅速で的確な応急対策を身に付けることと防災に対する意識の高揚を図ります。訓練を見学し、市民全体で防災意識を高めましょう。

**日時** 8月19日(日)午前8時～11時(小雨決行)  
**場所** 上庄小学校とその周辺



### 主な訓練内容

- **住民と自主防災組織**  
住民避難訓練、災害時要援護者の避難支援、水防訓練(土のう作り)、土砂災害救出訓練など
  - **市**  
災害対策本部設置と運営訓練、浸水建物排水訓練など
  - **市消防本部、消防団**  
要援護者避難支援訓練、中州救助訓練、土砂災害救出訓練、高所救出訓練など
  - **大野警察署**  
避難誘導訓練、防犯パトロール訓練など
  - **奥越土木事務所**  
情報伝達訓練、被害状況パトロール訓練など
  - **防災航空事務所**  
被害状況調査訓練、つり上げ救助訓練など
  - **関係機関、団体(5団体)**  
災害ボランティアアセンタ―設置と運営訓練、電力復旧訓練など
  - **災害協定団体(6団体)**  
ライフライン復旧訓練、障害物除去訓練など
- ☎ 防災防犯課防災防犯係  
 ☎ 66・1111 内線4622

## スターランドさかだに

新サービス始めました

- ① **ブルーベリーアイスが加わりました**  
施設内で採れたブルーベリーで作ったアイスクリームの販売を始めました。コーヒー・紅茶は100円でお替り自由。
- ② **散策コースができました**  
森林浴やいわれのある岩、棚田の風景などが楽しめます。
- ③ **お得な「そば券」を販売しています**  
二八おろしそば11枚券4,000円(4,400円相当)  
二八ざるそば、または十割おろしそば11枚券5,000円(5,500円相当)平日は予約(10杯以上)が必要です。  
☎ スターランドさかだに ☎ 67・7250

## 就業構造基本調査にご協力を

10月1日を基準日として、就業構造基本調査を実施します。この調査は、統計法に基づき、国民の就業および不就業の状態を調査し、全国や地域別の就業構造の状態を明らかにすることを目的としています。調査対象の地区には、調査員証を携帯する統計調査員が、8月下旬からお伺いします。対象となった皆さまのご協力をお願いします。  
 ☎ 情報広報課情報管理係 ☎ 66・1111 内線444

## 支援協力協定を締結

6月29日、市と兵庫県伊丹市のセツカートン株式会社との間で、災害発生時の支援についての協定を締結しました。協定の内容は、災害発生時に避難所で使うダンボール製の簡易ベッドを、市の要請を受けたセツカートン社が供給するというものです。  
 ☎ 防災防犯課防災防犯係  
 ☎ 66・1111 内線462



# とっておきのコンサートを大野の地で 齊藤一郎 × 京都市交響楽団

本市出身の指揮者齊藤一郎さんと、本市在住のバイオリン奏者松谷由美さん所属の京都市交響楽団が、市文化会館でオーケストラコンサートを行います。ぜひお聴きください。

**日時** 10月13日(土)午後4時開演(開場午後3時30分)

**場所** 文化会館

**曲目** ドボルザーク 交響曲第9番「新世界より」ほか

**入場料** (全席指定) 一般 3,000円 高校生以下 1,500円 ※未就学児入場不可

**チケット販売開始** 8月2日(日)

**チケット販売場所** 文化会館、ショッピングモール Vio

**その他** 文化会館では、電話でチケットを予約できます。席の指定はできません。1回4枚までで、1週間以内に受け取りに来てください

☎ 文化課文化係 (☎66・5410)



## 齊藤一郎さんからのメッセージ

ふるさと大野で数年ぶりに指揮できることは、本当にうれしく、胸が躍ります。

ドボルザークの「新世界」を始め、珠玉の名曲を選びましたので、ぜひ足を運んでくださいね。

## 第33回 大野市美術展

**日時** 8月24日(土)～26日(日)午前9時～午後8時  
(最終日は午後4時まで)

※表彰式 26日(日)午後2時 平成大野屋平蔵

**場所** まちなか交流センター

**部門** 第1部門 洋画 第2部門 日本画  
第3部門 彫刻・工芸 第4部門 書道  
第5部門 写真

**入場料** 無料

☎ 文化課文化係 (☎66・5410)





## 第45回

# おおの城まつり

期間

8月13日(月)～16日(木)

夏の一大イベント「おおの城まつり」が今年で45回目を迎えます。今年は例年よりパワーアップして開催。詳しくは全戸配布のチラシで確認してください。



### 13日 大花火大会(予備日:14日)

場所 真名川憩いの島 約5,100発の花火が夜空を彩ります。

### 14日 中学生みこし・ダンスパフォーマンス

場所 結ステーション

### 14日～16日 越前おおの&全国グルメコーナー、キッズパーク、フォト&クイズオリエンテーリング、45周年記念抽選会

場所 結ステーション

### 15日・16日 越前おおのおどり

※浴衣着用者には先着でネイルサービスをします

### 水鉄砲決戦(チームでチャレンジ)、てらまち万灯会

☎ おおの城まつり実行委員会 (大野商工会議所内 ☎66・1230)



## ファミリー・オペレッタ クルクル絵本の旅

日時 8月3日(土)午前10時  
(開場午前9時30分)上演時間100分程度

場所 文化会館

公演劇団 オペラクリエーション・イン・青山

対象 幼児から大人まで

入場料 無料(ただし整理券が必要)

整理券配布場所 各児童センター

☎ 西部児童センター(☎66・0912)

北部児童センター(☎65・3665)

東部児童センター(☎66・5233)

南部児童センター(☎66・2133)

和泉児童センター(☎78・2655)



## 七間朝市～みんな感謝の日曜日～

七間朝市を支えていただいている全ての人に、感謝の気持ちを伝えるイベントを開催します。

日時 8月12日(日)午前7時～11時

内容

### ○朝市お買い物券販売

日ごろの愛顧に感謝し、お得なお買い物券を100組限定で販売します

**お買い物券** 1組500円(100円券6枚つづり、当日のみ有効)

**販売方法** 当日午前7時から会場受付で販売

### ○米ふかしの実演と配布

当日の朝市商品購入者に、昔懐かしい「米ふかし」を無料配布します

### ○七間朝市「出店無料体験」

朝市に出店してみたい、体感してみたい人を対象に「出店無料体験」を実施します。体験を希望する人は気軽に問い合わせてください

**時間** 午前7時～11時

**対象** 県内在住者

### ○販売品目

野菜・加工品・手作り雑貨など ※加工品の販売は営業許可を持つ人に限ります

### ○申込締切

8月8日(木)

☎ 市朝市出荷組合(☎69・9520) 平日の午前中のみ

北川組合長(☎090・2036・2978)

農業農村振興課生産振興係(☎66・1111内線317)

# 平成25年成人式実行委員募集中

市では、平成25年1月13日回に開催する「平成25年成人式」に向け、企画・運営を行う実行委員を募集しています。

**対象者** 平成4年4月2日から平成5年4月1日生まれで、本市の成人式に出席予定の人

**活動内容** 成人式の企画と当日の運営を行います。10月ごろから月2回程度の会議を行います

**応募方法** 電話かファクス、電子メールなどで氏名、住所、生年月日などを連絡。1回目の実行委員会(10月上旬開催)前に案内します

**締切** 10月5日(当日消印有効)

**図** 社会教育課青少年女性係 (☎65・5590 FAX66・2885) 電子メール syakai@city.fukui-ono.lg.jp 〒912-0087 大野市城町9-1 学びの里「めいりん」内



## 平成25年4月採用 職員募集

### 一般職

#### 採用予定人員

- ▽事務 5人程度(うち身体障害者対象1人程度)
- ▽技術(土木または建築)1人程度
- ▽社会福祉士 1人程度
- 受験資格**
- ▽高校卒業程度の学力がある人(日本国籍がなくても可)
- ▽事務と技術は、昭和57年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人
- ▽社会福祉士は、昭和57年4月2日以降に生まれ、社会福祉士の資格を取得しているか、平成25年3月31日までに取得見込みの人
- ※身体障害者対象の区分での受験希望者は、さらに次のすべての要件を満たすこと
- ▽身体障害者福祉法第15条に定める手帳の交付を受けている▽活字印刷文による出題に対応できる▽介助者無しで受験や通勤、職務が遂行できる

#### 試験日時・会場

【一次】9月16日(回)午前9時〜午後3時・結とびあ(有終会館)・(教養試験・事務適性検査・作文試験・パーソナリティ診断)

【二次】10月28日(回)口述試験

### 消防職

#### 採用予定人員

- 1人程度
- 受験資格** 高校卒業程度の学力があり、昭和62年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人(日本国籍を持つ人に限る)

#### 試験日時・会場

【一次】9月16日(回)午前9時〜午後5時・結とびあ(有終会館) および消防本部(教養試験・消防適性検査・作文試験・パーソナリティ診断・体力検査)

### 申し込み

**受付期間** 8月1日(回)〜20日(回)(当日消印有効)

**申込方法** 申込書に必要事項を明記し、写真を貼付して持参か送付

#### 申込書の請求方法

直接または郵便で請求。郵便の場合は封筒の表に「一般職(〇〇)試験申込書請求」と朱書きし、送付先が分かるものと120円分の切手を添えて請求。※かつこの〇〇には、事務、技術、社会福祉士のいずれかを明記

#### 問い合わせ先

**一般職**  
総務課職員係  
(☎66・1111  
内線241)  
〒912-0866  
大野市天神町1-1

**消防職**  
消防本部総務課  
(☎66・0119)  
〒912-0084  
大野市天神町7-14

※インターネットを利用して申込書の入手や受験申込が可能です。市ホームページを参照してください



## 児童手当「現況届」は

### 提出しましたか

#### 遅れると、支給できません

児童手当を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するために、毎年6月に「現況届」の提出をお願いします。まだ提出していない人は、至急、提出をお願いします。

この届出の提出が遅れると、10月に児童手当が支給できなくなります。

☎ 福祉こども課 こども家庭係 (☎66・6631内線143)



## イトヨの里 24 特別展(県自然保護センター共催)

### 守ってあげたい大野の希少な生き物たち

～それは、外来種を知ることから始まる～

期間 7月31日(日)～9月30日(日)

場所 本願清水イトヨの里・県自然保護センター(南六呂師)

内容 **イトヨの里** 市内に生息する外来種(動植物)の脅威を剥製や標本、パネルなどで紹介

**自然保護センター** 市内に生息する希少魚などを展示

展示品 アライグマの剥製5体、ブラックバス(57匹)の剥製、ブルーギル、ウチダザリガニなどの標本、

ミシシippアカガメなどの生体

入館料 **イトヨの里** 大人 200円

子ども 50円

**自然保護センター** 無料

休館日 **イトヨの里** 8月6日、17日、20日、

27日、9月3日、10日、18日、24日、25日

**自然保護センター** 9月3日、10日、18日、

24日

☎ イトヨの里 (☎65・5104)

## 食生活改善推進員になりませんか

食生活改善推進員養成講座の受講者を募集します。

日時 (全5回) 9月～平成25年1月の第2(日)午前9時～午後1時

場所 結とびあ(有終会館)

内容 健康・栄養・運動などの講義、実技、調理実習

対象 地域の健康づくりに意欲があり、講座終了後、推進員となってボランティア活動のできる人

定員 20人(先着) 受講料 無料

申込方法 電話で申し込む 締切 8月24日(日)

☎ 健康長寿課健康づくり係

(☎66・6631内線112)

## 地域医療協議会委員を募集

地域医療について市民の皆さんの意見を反映させるため、地域医療協議会の委員を募集します。

会議は平日の夜に、年2回程度開催します。

募集人員 2人

応募資格 市内に在住する20歳以上で、地域医療に関心のある人

任期 委嘱の日から2年間

申込方法 「大野市の地域医療について思うこと」をテーマに400字程度にまとめて、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、健康長寿課に郵送か持参

締切 8月31日(日)午後5時(必着)

☎ 健康長寿課保健医務係 (☎66・6631内線121)

〒912-0084 大野市天神町1-19結とびあ内

## ご存じですか「大野会」

本市出身者が三つの「大野会」をつくっています。それぞれが、年1回の総会・懇親会やふるさと訪問ツアーなどの活動を行い、ふるさとの懐かしい思い出話に花を咲かせて会員の親交を深めています。各会では、会員を募集しています。本市出身の社会人・学生に紹介してください。

### 東京大野会

対象 関東在住の本市出身者

会費 年間2,000円

活動内容 年1回の総会・懇親会、探索ウォークなど

申込先 (事務局)高井雅之さん

(☎048・971・6668)

### 関西大野会

対象 関西在住の本市出身者、大野にゆかりのある人

会費 年間2,000円

活動内容 年1回の総会・懇親会、ふるさと訪問ツアーなど

申込先 (事務局)森川利栄さん

(☎090・8884・7945)

### 中京大野会

対象 中京在住の本市出身者、大野にゆかりのある人

会費 正会員3,000円

準会員1,000円(未成年、学生および家族、知人)

活動内容 年1回の総会、年4回の懇親会、ふるさと訪問ツアー、越前おの

ブランドセールス支援作業など

申込先 (事務局)久保 久さん

(☎052・917・0221)

# 平成23年度 市の財政状況

市では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかをお知らせしています。今回は、平成23年度の決算の概要についてお伝えします。

## 一般会計

ポイント

歳入総額は195億8171万円で、前年度と比べ1.9% (3億7086万円) の増となりました。歳入のうち最も大きいのは地方交付税で、全体の32.7%。自主財源の中心である市税は39億5806万円で、全体の20.2%でした。  
歳出総額は189億7642万円で、前年度と比べ2.7% (4億9158万円) の増となりました。

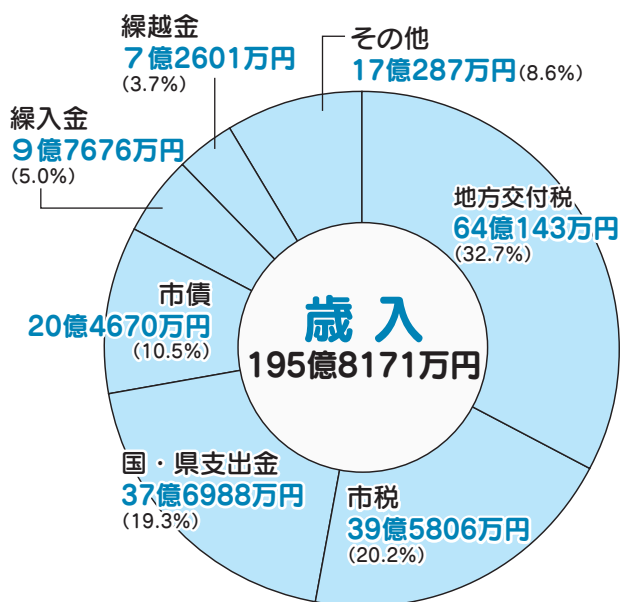
市民一人当たり換算して・・・

いくら使われた？  
**52万1445円**

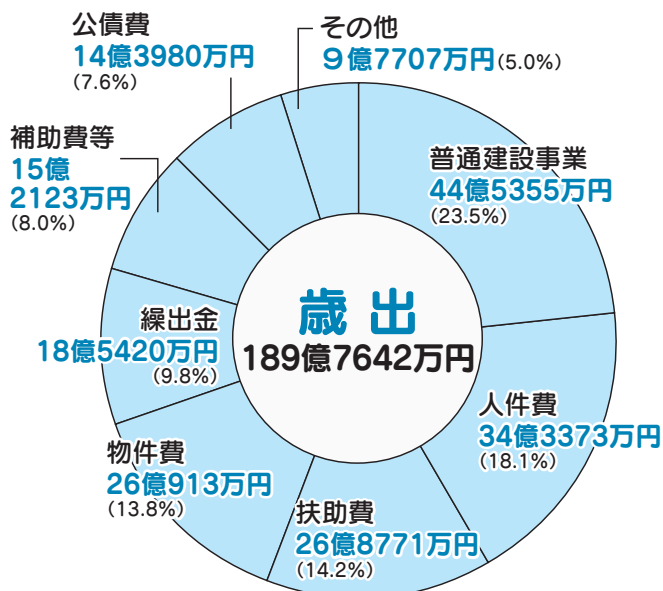
何に使われた？

- 民生費 12万2857円**  
(子育て支援や福祉の充実など)
- 総務費 9万9919円**  
(地域づくりや防災、管理運営経費など)
- 土木費 5万9115円**  
(道路・住宅・公園の整備など)
- 教育費 5万6355円**  
(教育・文化・スポーツの充実など)
- 衛生費 4万6536円**  
(医療・保健の充実、ごみ対策など)
- 公債費 3万9568円**  
(市が借りたお金の返済など)
- 商工費 3万109円**  
(商工業や観光の振興など)
- 農林水産業費 2万9305円**  
(農業・林業の活性化など)
- 消防費 1万5417円**  
(消防、救急救命など)
- その他 2万2264円**  
(市議会の運営、労働者の福祉、災害復旧など)

※平成24年3月末現在の人口(36,392人)で計算



歳入から歳出を差し引いた6億529万円は24年度に繰り越しました





## 市税の中身は？

市民税	15億8321万円
固定資産税	19億4986万円
軽自動車税	8748万円
たばこ税	2億 309万円
入湯税	697万円
都市計画税	1億2745万円

※市民税は法人税を含む

## 基金・市債・市税の市民の負担は？

	現在高(市税は決算額)	市民一人当たり
基金(貯金)	83億2842万円	22万8853円
市債(借金)	136億3841万円	37万4764円
市税負担	39億5806万円	10万8762円

※平成24年3月末現在の人口(36,392人)で計算

## 特別会計 特定の事業を行うため、一般会計と区別し、その特殊性を明らかにするために設けられている会計です。

事業	予算現額	歳入	歳出
国民健康保険	41億3133万円	41億4846万円	38億8247万円
和泉診療所	8643万円	8323万円	8323万円
後期高齢者医療	3億7226万円	3億6712万円	3億6648万円
介護保険	35億5506万円	34億9305万円	34億4893万円
簡易水道	1億5363万円	1億4948万円	1億2396万円
農業集落排水	3億8360万円	3億7983万円	3億5531万円
下水道	12億3773万円	11億 527万円	10億9927万円

## 企業会計 民間企業のように、事業で得た収入で支出を賄っています。

### 水道事業

収益的収支  
(事業運営と  
施設管理)

収入 1億4262万円  
支出 1億3983万円

資本的収支  
(施設整備など)

収入 3695万円  
支出 6738万円

※資本的収支の収入に対する支出の不足分は留保資金で補てん

## ふるさと納税のご案内 ~あなたの「ふるさと納税」で越前おおのを“元気なまち”に~

### ●ふるさと納税とは

ふるさとへの「寄付金」です。生まれ育った“ふるさと”を応援したい、“ふるさと”のために貢献したいという思いを実現する制度です。ふるさとの県や市町村に寄付した場合、住民税などが軽減される仕組みになっています。

### ●寄付をする場合には

所定の寄付申出書に必要事項を記入して、郵便・ファクス・電子メールで申し込んでください。市ホームページにある電子申請システム「ふくe-ねっと」から、インターネットを利用して申し込むこともできます。

### ●23年度は総額204万円

平成23年度に、全国各地から本市に寄せられた寄付

は、32件で184万2000円でした。県寄付共同受入窓口からも、8件で19万7500円の受け入れがありました。皆さんからのご支援に心からお礼申し上げます。

### ●寄付金は「結とびあ」に

この貴重な寄付金は、「社会福祉事業充実基金」に積み立て、保健・医療・福祉サービス拠点施設整備事業の財源として、「結とびあ」整備に役立てました。

### ●これからも応援を

市では、市外在住の本市出身者などへ積極的に呼び掛けを行っています。市民の皆さんも、市外在住の知人へふるさと納税の呼び掛けをお願いします。ふるさと納税による応援を心からお待ちしております。

☎ 行政戦略課ブランド推進室

(☎66・1111 内線435 FAX65・8371)